

「BP-2000N/5000N主仕様」

| | | |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|
| 標準装置構成 | 熱分解槽(3基) 加熱槽(1基) 触媒槽(2基) ガス冷却塔(1基) 循環油槽(1基) 循環油冷却器(1基) 塔項冷却器(1基) 制御盤 架台 | |
| 実効容量(ℓ/バッチ) | 2000N:2,000ℓ | 5000N:5,000ℓ |
| 処理時間(h/バッチ) | 2000N:5h | 5000N:5h |
| 消費電力(kw/h) | 2000N:15kw | 5000N:25kw |

※詳細・他機種に関しては、お問合せ願います。
※前処理装置は別見積りとなります。

営業品目

- 廃プラスチック油化装置の製造販売
- 廃油改質装置の製造販売
- 廃食油改質装置の製造販売
- 農業用廃プラスチック乾式処理装置の製造販売
- 廃タイヤ油化装置の製造販売
- 加水分解乾燥装置の製造販売
- 未利用資源再資源化装置及びシステムの開発製造販売
その他関連装置及びシステムの製造販売

※性能向上の為、仕様は予告なく変更する場合があります。

開発 製造

 株式会社伸光テクノス

本社 〒491-0043
愛知県一宮市真清田1丁目1-20
[TEL] 0586-28-9461 [FAX] 0586-24-4502
URL <http://www.shinko-mfg.co.jp>
E-mail info@shinko-mfg.co.jp

代理店

SE1001

CATALOG

CATALOG

NEXT GENERATION SYSTEM

プラスチック廃棄物の適正処理と再資源化を実現

プラスチック油化還元装置 BP-100N～5000N



 株式会社伸光テクノス

環境にやさしい — 循環型社会の実現に

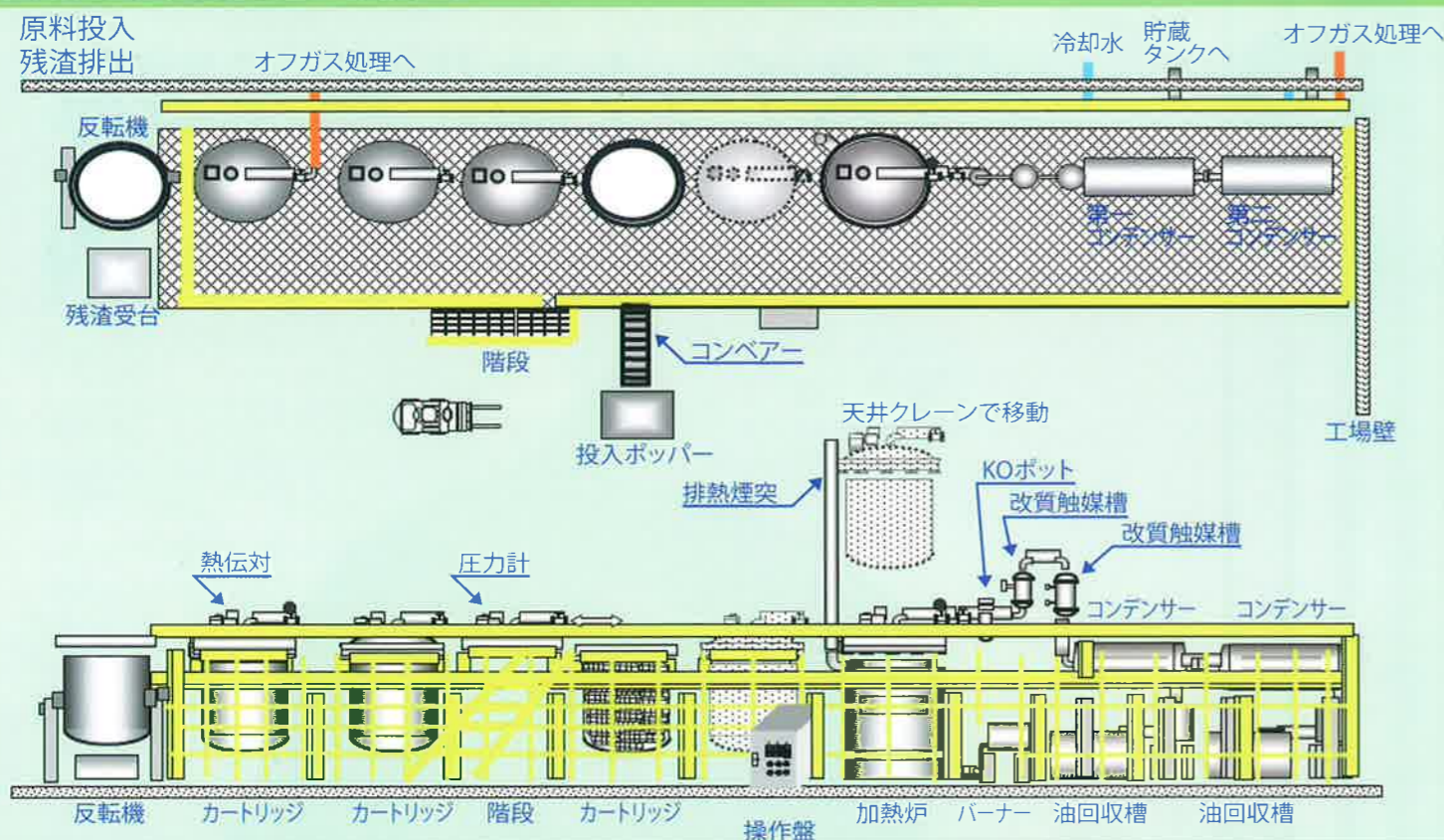
廃プラスチックの適正処理と再資源化を実現する、油化還元装置 BP-100N～5000N

BP-100N～5000Nの概要

本装置は、プラスチックから接触触媒法を用い、用途に合った再生油を得ることを目的に開発されたプラスチック油化装置です。

本装置の加熱槽に投入されたプラスチックは、熱分解反応によりガス化されます。分解ガスは触媒槽内の改質作用により、炭素鎖長切断が行われます。その後冷却器（コンデンサー）で冷却、液化し、再生油として回収します。第一コンデンサーでは、より高温で冷却し、高沸点油を、第二コンデンサーでは、低温で冷却し、低沸点油を回収します。

プラスチック油化装置バッチ型フロー



多目的にご利用頂くために

油化装置をプラスチックだけではなく、多目的にご利用頂くために、弊社では、油化の可能性、油化条件、油化率等を実験機で検証しております。

検証により、再生油の品質、油化条件、油化率等が明確になり、より具体的な検討が可能となります。現在、携帯電話、基板からの希少金属回収の前工程、廃タイヤ、廃トナー、建築廃材、医療性廃棄物等の油化実証を行い、実用化しております。

また、対象処理物の前処理から、残渣物の処理までトータルなご提案が可能です。

BP-100N～5000Nの特長

- ① 資源再利用型の装置です。
- ② バッチ法であるため、プラスチックに限らず、多目的に利用可能です。
- ③ 低温処理のため、ダイオキシン等塩素系有害物質、その他ハロゲン系有害物質の発生が抑えられます。
- ④ 触媒の使用により、タールを低分子化し、品質の良い油を生成します。
- ⑤ 高い熱効率、加熱排気による触媒槽の保温、発生可燃ガスの加熱槽内再燃焼等、省エネルギー化を実現した装置です。
- ⑥ 緊急自動停止システム、強制冷却システム、オフガス燃焼システムの導入により、高い安全性を実現しております。
- ⑦ 諸法規の許可実績のある装置です。

導入事例

リサイクル工場



※脱塩素について
塩ビが入っている廃棄物等の処理、脱塩素装置のご用命承ります。